

公表	事業所における自己評価表	児童発達支援事業	令和6（2024）年度
----	--------------	----------	-------------

事業所名	金沢市障害児通園施設 ひまわり教室			
保護者評価有効回答数	対象者数	15人	回答者数	15人
従業者評価実施期間	2025年1月27日～2025年2月15日			
従業者評価有効回答数	対象者数	7人	回答者数	7人
事業者向け自己評価作成日	2025年2月17日～24日			

表1「保護者等からの児童発達支援事業所評価の回答の集計結果」（ ）内はパーセント

	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	無回答	合 計
環境、体制整備（1～4）	57(94.9)	1(1.7)	1(1.7)	1(1.7)	0(0.0)	60(100)
適切な支援の提供（5～11）	96(91.4)	2(1.9)	0(0.0)	5(4.8)	2(1.9)	105(100)
保護者への説明等（12～22）	154(93.3)	6(3.7)	0(0.0)	3(1.8)	2(1.2)	165(100)
非常時等の対応（23～26）	54(90.0)	1(1.7)	0(0.0)	5(8.3)	0(0.0)	60(100)
満足度（27～29）	42(93.3)	0(0.0)	0(0.0)	3(6.7)	0(0.0)	45(100)
合 計	403(92.7)	10(2.3)	1(0.2)	17(3.9)	4(0.9)	435(100)

（公表）以下は、各問いに対する保護者のみなさんの意見です。

環境・体制整備

1. こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 はい15（100%） どちらとも言えない0 いいえ0 わからない0
意見・「沢山の工夫された遊びが行えるスペースになっています」「のびのび走り回っており、とても楽しそうです。昼食も全員を見渡せるようになっていて良いと思います」「活動に合わせて遊具などを毎回移動して活動スペースを確保できている」「部屋を広く整頓されている。活動に合わせた場所を提供してくれている」「こどもが多くても活動しやすい広さだと思います」
2. 職員の配置数は適切であると思いますか。 はい13（86%） どちらともいえない0 いいえ1（7%） わからない1（7%）
意見・「ナースの人数が少ない。看護師がいない日もあって心配はある。誰がどのような職種なのか、分かるようにしてほしい」「先生の数が多く、常に子どもを目で追ってくださっていて安心します。あぶれる子がいない印象です」「こどものことを細かくみて報告いただいております、安心できます」「子ども1～2人に付き1人の職員はついているので安心できます」「別室でお昼寝している時も横にいてくれるなどしてくれており、適切なのではないかと思います」
3. 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境（こども本人がこの部屋で何をすることがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫すること）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 はい14（93%） どちらともいえない1（7%） いいえ0 わからない0
意見・「（こどもの）ロッカーに顔写真が貼ってあり、自分の場所が視覚的に分かりやすくなっています。段差なく動きやすそうです」「活動内容に応じて部屋をかえていたり、どんな子でも居心地のよいようになっていたりすると感じます」「わかりやすくわけられており、子どもたちもきちんと理解している」「車いすやバギーでも移動出来る作りになっています」
4. 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっていると思いますか。また、こどもたちの活動に合わせた空間となっていると思いますか。 はい15（100%） どちらともいえない0 いいえ0 わからない0

意見・「こまめに掃除。消毒をされており、いつも清潔です。活動が終わったら片付けもすぐされていて、次の活動に影響が出ないようになっていて良いです」「生活のしやすい空間だと思います」「整頓されていてきれいです」「いつもきれいになっており安心してあずけられるようになっている」「娘は心地よさそうに過ごしています」

適切な支援の提供

5. こどものことを十分に理解しこどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。

はい13 (86%) どちらともいえない2 (14%) いいえ0 わからない0

意見・「細かくヒヤリングをして下さり、こどものことをよくわかって下さっています。決めつけることなく、よくこどものことを観察したうえで、対応してもらっています」「細かくご対応いただいていると思います」「出来ることが増え、家で経験出来ないことをしてくれる」「専門性というと浮かぶのはリハビリですが、専門の方がいらっしゃるわけではないので、十分ではないと思うけど、こどもの苦手分野をしてくれたりなどしてくれている」「子に対してしっかり支援をしてもらっています」

6. 事業所が公表している支援プログラム（事業所で行われている取組等について示し、公表する）は事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。

はい13 (86%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない0 無回答2 (14%)

意見・「安心してお任せできています」「合っていると思います」

7. こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されていると思いますか。

はい15 (100%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない0

意見・「（毎月の面談で保護者のニーズが話せていれば）面談になかなか行けない・話せない時にどうニーズを伝えていいか分からなかった。誰に話していいのが難しかった。面談に行けないからといってニーズが伝わっているとは思っていなかったの、こどもの成長に合わせて変化）話せる時間が作れるとよかった（こちらで作ればよかった）」「面談や連絡帳で伝えた困りごとを発達に応じて課題にもりこんでくださっていると感じています。」「都度状況に応じて課題に取り組み、方向性を示していただいています」「私たちの希望を取り入れてくれている」「こどものことをよくみてくれて、理解した上で親との面談での話もよく聴いてくれて、きちんと計画に反映されている」「いつもしっかり説明してもらい作成されています」

8. 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。

はい14 (93%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない1 (7%)

意見・「細かく設定いただき、一緒に取りくんでいただけています」「2 か月に1 度、支援内容を確認しています」「支援が具体化されていると思います」

9. 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。

はい14 (93%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない1 (7%)

意見・「細かく設定いただき、一緒に取りくんでいただけています」「長年の課題であった自分でご飯を食べるということを、根気よく教えていただき、達成することもでき、ちゃんと支援を行なってもらっている」「適宜支援内容を見直してもらい、支援してもらっています」

10. 事業所の活動プログラム（日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動。こどもの発達の状況や障害特性に応じて柔軟に組み合わせて実施される）が固定化しないよう工夫されているか。

はい14 (93%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない1 (7%)

意見・「日替わりで色々な遊びをさせてもらっています」「常に子どもたちのことを考え、あたたかみのあるプログラムをすすめていただいていると感じます」「子どもたちそれぞれの特性に合わせて行われていると思います」「室内での遊びはもちろん、外出して色々な場所でも活動されて、いつもありがたいです」「体を動かしたり豆遊びをしたりなど、子ども達がいつも楽しめるように工夫されている」「いつも色々な遊びをさせてもらっています」

11. 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。

はい13 (86%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない2 (14%)

意見・「地域の幼稚園との交流もよくしていただいています」「定期的に近隣の園の子どもたちが来て一緒に遊んだりしている」「いろんな場に行き下りありがたかった」「近くの園に行ったり、公園に行った際、他の子どもと遊んだりして、交流させてもらっている」「地域の園にたまに行っています」

保護者への説明等

12. 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。

はい15 (100%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない0

意見・「ていねいに分かりやすく説明していただきました」「右も左も分からない中、ていねいで、かつ細かく、ご説明いただきました」「そのつど丁寧に説明してもらっている」「説明してもらいました」

13. 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。

はい14 (93%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない1 (7%)

意見・「説明も含め、同じ方向を向いてご協力いただいていると感じます」「2か月に1回文書にて支援内容を説明していただいている」「いつもきちんと細かく説明してくれている」「丁寧に説明いただきました」「説明してもらいました」

14. 事業所では、家族に対して家族支援プログラム・ペアレント・トレーニング等が行われていますか。

はい14 (93%) どちらともいえない1 (7%) いいえ0 わからない0

意見・「知識や交流も含め、家族へのフォローがしっかりしていると思います」「外部の講師の方、先輩家族のお話を聞くことができ勉強になります」「先日も子どものAEDを使った救処置の講習を受けさせていただき、知らないこともあり、ためになっている」「学習会や月1回の面談がある」「月1回の面談でアドバイスいただいています」「1か月に1回は研修があると思います」

15. 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況について共通理解ができていると思いますか。

はい15 (100%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない0

意見・「現状を共有したうえで、今後の見通しの話も経験をもとに伝えてくださるので、信頼しています」「些細なことから細かくご理解いただけていると感じます」「毎日の『おたより（連絡帳）』で子どもの様子を伝達・共有しています」「その日の出来事等を教えてくれるので助かる」「連絡帳だけでなく、日々の送迎時にもお話しする時間をとってくれている」

16. 定期的に、面談や、子育てに関する助言等の支援が行われていますか。

はい15 (100%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない0

意見・「毎月相談日が設けられていて、時間を長くとっていただいています」「月に1回お話を場を設けていただき、それ以外でもよく助言いただいています」「月1回個別相談や定期的な保護者会で助言していただいている」「兄弟ともに言えることですが、連日朝から晩まで何事にも折り合いがつかず、私の手には負えず…。そんな日常の中、そのときどきで間に入って話を下さったり、真剣に向き合ってくれたり、家庭ではなし得ないこと、多くのことが出来るようになりました。また、学習意欲も見られるようになりました。このことがまた2人の自信にもつながっているように思います。これもまたなかなか出来ることではないです。いつもありがとうございます」「月に1回必ず面談を設けてくれている」「月1回の面談があるし、わからないことがあったり相談しやすい雰囲気があったりする」「いつも相談させてもらっています」

17. 事業所の職員から共感的に支援されていると思いますか。

はい14 (93%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない0 無回答1 (7%)

意見・「子どもはもちろん、家族のことも理解していただきながら接していただいていると感じます」「面談時相談にのっていただいている」「状況は形を変え（私が）苦しいことには変わりありませんが、先生方の対等に子どもと接して下さる姿勢（うまく言えませんが）や、熱量が子どもたちの通室

を通して（大げさなようですが）パワーをくれています」「本当に良くしていただいて、支援を受けていると思っている」「いつもあたたかく接して下さっています」「されています」

18. 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。またきょうだい向けのイベントの開催等によりきょうだい同士の交流の機会が設けられるなどきょうだいへの支援がされていますか。

はい13（87%） どちらともいえない1（7%） いいえ0 わからない0 無回答1（7%）

意見・「学習会で他のかたの話が聴けたり、就学についてなど情報も聞けたりして助かっています。川遊びやクリスマスの時はきょうだいの子も一緒に来ていてにぎやかでした」「知識や交流も含め、家族へのフォローがしっかりしていると思います」「家族・きょうだいで参加できるイベントもいくつかあり、きょうだい児も楽しく参加しています」「教育や福祉についての学びをたくさん深めることができ有難いです。子ども達の障害の違い、個性性が高いので、テーマを絞るのは難しいかもしれませんが、生理学的な内容（神経発達や摂食嚥下に関して）の講義やお話が聞けるといいなと思います。食事や嚥下に関しては各々の家庭で大なり小なり悩み、取り組んだり工夫したりしているので、発表し合うのもいいと思います。ある程度保護者同士の自主性に任されている部分はあると思います。面談日の保育参加で複数家族が参加可能なら、そういう方法も良いのかと思います」「土曜日に家族も参加できる交流会やイベントがあり、参加出来る時はしている。兄も一緒に参加でき、楽しそうにしている」「あまり参加できず、申し訳なく思っています」「父母の会で保護者がひまわり教室以外で集まる機会を作ってくれている。『きょうだい同士の交流の場』というのは特にないが、ひまわり教室のイベントできょうだいに来て自然と交流している」「クリスマス会等、きょうだい同士の交流できる機会を設けて下さりととても嬉しいです」「親に向けた学習会の時やその他の時もきょうだい児の支援があります」

19. こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。

はい14（93%） どちらともいえない1（7%） いいえ0 わからない0

意見・「相談日以外にも時間を作って話を聴いてくださいます。いつでもどうぞと言う体制も雰囲気もあり、安心して話せます」「ご対応いただけていると感じます」「こどもの変化でまた昨年は今までと違う大変さがありましたが、日々のひまわり教室の先生方の臨機応変な対応（曜日によって朝の迎えや帰りの時間を変える等）により、何とか過ごすことができました。日頃よりありがとうございます」「相談ことがある時にはどのように解決できるかアドバイスや教室で最善を尽くしてくれる」「すぐに対応して下さい」「すぐに対応してくれています」

20. こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていますか。

はい14（93%） どちらともいえない0 いいえ0 わからない0 無回答1（7%）

意見・「忙しい中ていねいに連絡帳を書いてくださるので、安心してあずけられます。本人からは日々の様子が聞けないので助かっています」「毎日のおたより、送迎時に直接伝達しています」「日頃の保育の様子を写真等でみられる機会がもう少し増えたらうれしい」「面談なども個室でしていただき、配慮されている」「先生方みなさんが親しみやすく話しやすい雰囲気をつくって下さいます」「配慮されています」

21. 定期的に会報やホームページ・SNS等で活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。

はい12（80%） どちらともいえない1（7%） いいえ0 わからない2（13%）

意見・「通信で活動の様子が頻繁に分かるようになっていきます。写真に日付も入っていて、連絡帳の内容が後から写真でも見られてうれしいです。我が子の写真はデータでほしいとは思いますが」「定期的におたよりいただいています」「時々どうしていいのかわからない用紙が入っていることもあり、TELで尋ねることも多かったように思った」「紙面での活動概要などを発信しており、毎回子どもたちのきらきらした笑顔を見るのが楽しみです」「でこぼこ通信やおたより等あり、毎回楽しみにして

います」「おたよりをたくさん下さいます」「いつもいただくおたよりの写真などととてもほほえま しいです」
22. 個人情報の取扱いに十分注意されていると思いますか。 はい14 (93%) どちらともいえない1 (7%) いいえ0 わからない0 意見・「通信にのせていいか同意をとってくださいました」「保護者に承諾を得てから発信されてい ると思います」「不十分だと思ったことがないです」「個人情報の取扱いに十分注意してとりあつかわ れています」

非常時等の対応

23. 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が 策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 はい13 (86%) どちらともいえない1 (7%) いいえ0 わからない1 (7%) 意見・「ファイルに常にマニュアルが入っており、すぐに確認できるようになっています」「避難訓練 や災害時の対応などしっかり実施されています」「マニュアルは子どもたちのバッグの中に入ってお り、何かあった時はすぐに確認できるようになっている。訓練もしている」「訓練されています」
24. 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか。 はい13 (86%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない2 (14%) 意見・「避難訓練が行われており、その報告も通信で確認できます」「避難訓練や災害時の対応などし っかり実施されています」「避難訓練の様子も保護者に伝えてくれています」「避難訓練の活動した 様子が紙面で確認しました」「定期的に行われています」
25. 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上 で支援がなされていると思いますか。 はい14 (93%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない1 (7%) 意見・「避難訓練や災害時の対応などしっかり実施されています」「酸素のチューブを付けている子の ための工夫など、本当に沢山色々工夫して十分な安全確保をしてくれている」「説明もして頂き、支 援されています」
26. 事故等（怪我等も含む）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について 説明がされていると思いますか。 はい14 (93%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない1 (7%) 意見・「ささいなことでもすぐに護報告いただけています」「緊急時のマニュアルを配布され、説明も 受けている」「ぶつけたアザなどはその日の帰りにきちんと説明を受けている」「いつもすぐに連絡 して下さっています」

満足度

27. こどもは安心感をもって通所していますか。 はい13 (86%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない2 (14%) 意見・「服をかむなどの不安時に見られる行動もなくなり、ひまわり教室が自分の居場所だと思ってい るようになります」「のびのびと過ごせているように思えます」「職員の方を家族のように感じてい るようです」「子どもたちは大人の口実や表向きの表現を簡単に見抜きます。そして過去そういった 場面に居合わせ、無意識にそういった言動をされる大人に出会うとその場には行かなくなる、とい うことが兄弟ともにあるように思います。ひまわり教室は通える唯一の場所です。子どもたちがなぜひ まわり教室を選んだのか納得できます」「自分の家のように安心してくつろいでいる」「安心し、楽 しく行っています」
28. 子どもは通所を楽しみにしていますか。 はい14 (93%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない1 (7%) 意見・「お迎えが来るとにこにこの笑顔で、うれしそうです。通院で行けない時は不満そうです」「い つも楽しそうなので、楽しみにしています」「毎日迎えが待ちどおしく、教室で覚えた歌を

いつも歌っています」「ひまわり教室に着くと、吸い込まれるように中に入っていき、楽しそうにしているの、日々の活動が楽しいのが伝わってきます。いつもありがとうございます」「先生もお友達も大好きで、楽しみにしている」「とても楽しみにしています」「よくお友達の名前を言ったりしています。楽しんで通っています」「先生方を見るとにこにこでかけていきます」「とても楽しんでます」

29. 事業所の支援に満足していますか。

はい15 (100%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない0

意見・「通室してからの成長が目覚ましくうれしいです。家でも食事など細かな点でも助言をいただけて、助かっています。いつも笑顔で接してくださり親のメンタルの安定にもつながっており、感謝しかありません。いつもありがとうございます」「ひまわり教室でよかった、と満足しています」「ひまわり教室に通えて本当に満足と感謝の気持ちで一杯です」「とてもありがたいと思っている」「大変満足しています」「秋頃、突然子どもたちがキロロの『未来へ』を歌うようになりました。先生たちが歌っているんだよ、と言っていました。歌っている時は兄弟ケンカも中断。少し軽くなりました。今試しに音楽をならす時間を嫌がらない範囲で、少しずつですが、かけています。直接的な何かということだけでなく、日常から少しでも取り入れられることは、と思っています。活動の中から教わること、多々あります」「満足している夫婦ともに小学生になるまでは通所したいと考えている」「こどもも楽しく通っていますし、親の相談にものってもらい、感謝しています」「大変満足しています」

<児童発達支援事業、保護者向け評価を読んで>

全体として家族の皆さんからよい評価をいただき、感謝しています。子どもの好ましい育ちのためには事業所が家族に信頼されていることが重要なので、今後ともたがいに信頼を深め合い、一緒になって子どものよりよい育ちのために尽力したいと思います。

ごく僅かですが、不安も出されているので、よく保護者の思いを聴くとともに、私たちの考えを丁寧に伝えていくことで、保護者の不安が解消されるように努めたいと思います。

(2)「職員からの児童発達支援事業所自己評価の集計結果」

表2 児童発達支援事業自己評価に関する質問の職員からの回答の集計結果 7人 () 内はパーセント

	はい	いいえ	無回答	合 計
環境、体制整備 (1～5)	31 (88.6)	3 (8.6)	1 (2.8)	35 (100)
業務改善 (6～10)	35 (100)	0 (0.0)	0 (0.0)	35 (100)
適切な支援の提供 (11～23)	86 (94.5)	4 (4.4)	1 (1.1)	91 (100)
関係機関や保護者との連携(24～34)	49 (87.5)	5 (8.9)	2 (3.6)	56 (100)
保護者への説明責任等 (35～44)	68 (97.1)	2 (2.9)	0 (0.0)	70 (100)
非常時等の対応 (45～53)	61 (96.8)	1 (1.6)	1 (1.6)	63 (100)
合 計	330 (94.3)	15 (4.3)	5 (1.4)	350 (100)

以下は、職員の意見及び、工夫している点・改善が必要だと思われる点です。

環境・体制整備

1. 利用定員が発達支援室等スペースとの関係で適切であるか。

はい7 (100%) いいえ0

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・子どもの人数も増え、走り回りたい子にとっては、もう少し広いスペースが必要と感じますが、外出や屋上なども利用して工夫をしています。走り回る子が多い日は活動を別にしたり、外出したりしてしています。建物の隣に広場があるので日向ぼっこしたり、シャボン玉で遊んだり、近所の幼稚園の子どもたちが遊びに来て一緒に遊んだりすることもあります。

- ・教室には昼寝の時間はありませんが、小さい子も多いので寝てしまう子も何人かいます。そんな時は、活動する部屋と分けて寝かせています。当たり前ですが、職員がついています。
- ・廊下も広いので、子どもたちも長い廊下を這ったり歩いたり走ったりして、楽しんでいます。

2. 利用定員やこどもの状況等に対して、職員の配置数は適切であるか。

はい4 (57.1%) いいえ3 (42.9%)

意見

- ・新しい子どもが入って落ち着くまで1対1で見守る必要がある時期に臨機応変に増員できたら良いと感じる。医療的ケアをする子が多い日には1対1になる必要があり、人手が足りないと思う。子どもの出欠が変わることもあり、実際に足りないと思う日もある。が、必要な時は配置数を増やす等工夫をしている。
- ・日によってもう少し配慮すればよかったと思うこともある。半面、低年齢の子が多いのでどうしても人手がいると思うが、だいたいはいいい人数ではないかと思う。
- ・概ね良いと思うが、休日取得の関係で、パートさんが多い日には大変な日も。余裕のある勤務が組めれば、と思う。
- ・午後の時間に時々人が足りないと思うことがあるが、だいたい適切であると思う。

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・20人の定員に4人という人員配置に、日によって、時間帯によって、さらに4～6人の職員（常勤・非常勤）が入っています。1対1ということは無理でも、医療的ケアの子が多く来る日には職員の人数を増やすことも考えていきたいと思います。

3. 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達、環境上の配慮が適切になされているか。

はい7 (100%) いいえ0

意見

- ・手洗い場は子ども用に低く設定されているが、車いすに乗っているままの使用が困難。

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・建物自体がバリアフリー化されています。部屋の入口に動物を模した印があり、ふだんから遊ぶ部屋を「キリンの部屋」、食事やあいさつをする部屋を「リスの部屋」と言っていることもあるし、活動によって部屋を分けて使っているため、子どもたちにも分かりやすいと思います。
- ・どんな子でもできるかぎり自分で動いたりできるように、危なくないように床には物を置かないとか、掃除をしっかりとるとか、段差が危ない時はマットを置くとか、環境には配慮しているので、子どもたちも動きやすいと思います。
- ・小さい子から、中学を超える子までと、通ってくる子の年齢幅が広いので、手洗い、トイレなど大きい子は大人の方を使っています。
- ・水道は自分で操作して出せるようにしています。子どもたちのできることを奪わないように、あえて、自動にはしていません。

4. 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。

はい7 (100%) いいえ0

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・這う子や歩き始めの子もいるので、きれいにしています。また、日頃から片付けるよう、職員は意識しています。
- ・片付けや掃除を心掛けていますが、散らかりやすいし、雑然としていることもあるため、整理整頓をもっとできるように心がけたいと思います。
- ・子どもたちの活動に合わせて、設定遊びに使う遊具や素材は、使ったら片付けています。

5. 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。

はい6 (86%) いいえ0 無回答1 (14%)

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・子どもたちは自分の居たい場所で遊んでいます。体調・気分などの状況に応じて、部屋を用意しています。寝る子は部屋を分けたり、大きな音が苦手な子は廊下（廊下は広い）に出たり別の部屋へ行ったりして工夫しています。
- ・落ち着いて過ごしたい場合や、急な発熱になった場合に、すぐ使える和室（医務室にしている）があります。子どもによっては、段ボールで自分の部屋を作って入っています。

業務改善

6. 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。

はい 7 (100%) いいえ 0

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・年度初めに目標設定や役割分担などを決めています。それを、週に1回ある話し合いでさらに細かい係を決めたりして、職員全員で行っています。不都合なことがあった場合は、職員で確認し合って、業務を進めています。チームで仕事をしている場合、話し合いをすることが絶対に必要なので、意見を出し合いながら仕事をしています。振り返りもして次回につなげています。

7. 保護者等向け評価表により、保護者等に対して保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。

はい 7 (100%) いいえ 0

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・毎年アンケートを実施し、結果をスタッフで共有したり改善する点は早くに見直したりと確認しています。内容は、2か月に1回発行している「教室だより」にも載せています。保護者からの意見は改善できるところはすぐにしています。保護者との学習会でも報告しています。
- ・評価表に書くだけでなく、直に言って頂くことも大切にしたいと思います。

8. 職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。

はい 7 (100%) いいえ 0

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・毎週1回行っているミーティングにて職員は自分の意見や思ったことを言うように心がけています。年間の計画の話をしたりする時に意見を出し合って進めるためにも、出し合うようにしています。業務改善の必要な場合には改善しています。

9. 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。

はい 7 (100%) いいえ 0

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・正式なものではありませんが、2年に1回行なっています。大学の先生に、教室のやっていることを評価してもらっています。その結果は、教室だより・ホームページに載せています。
- ・評価をしてもらい、職員で確認をしています。変更すべきところは変更しています。

10. 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。

はい 7 (100%) いいえ 0

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・毎年1回外部の人も含めたレポート（実践）検討会や事業所内勉強会や研修等しています。職員それぞれの行きたい研修にも行っています。研修後に報告もしています。
- ・虐待防止・感染症対策・救急法などの研修のあと、参加した職員は、他の職員に、その研修の振り返りの研修を行なっています。

適切な支援の提供

11. 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。

はい 7 (100%) いいえ 0

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

・毎年、年度初めに「活動計画（支援プログラム）」を作成して発行しています。それを、ホームページに掲載しています。

その年度に利用する保護者のみなさん全員に、渡しています。学習会で、説明をしています（参加しなかった人には説明不足な面もあると思います。気をつけていきます）。

12. 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。

はい 7 (100%) いいえ 0

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

・子どもの育ちの様子に応じて作成しています。作成した個別支援計画（教室ではまとめと言っている）は、職員で確認後、保護者に確認してもらったものを、子ども1人ひとりの「ケース記録」に綴っておき、誰でもが確認できるようになっています。2か月に1回見直しをしています。その際にも職員で確認し合っています。

13. 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。

はい 7 (100%) いいえ 0

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

・12. と同じです。子どもの育ちの様子に応じて作成しています。作成した個別支援計画（教室ではまとめと言っている）は、職員で確認後、保護者に確認してもらったものを、子ども1人ひとりの「ケース記録」に綴っておき、誰でもが確認できるようになっています。2か月に1回見直しをしています。

14. 児童発達支援計画が職員間に共有され、改革に沿った支援が行われているか。

はい 7 (100%) いいえ 0

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

・12. と同じ。全て共有することは難しいですが、必要なことは話し合い、確認しています。職員ミーティングで確認を行ない、職員間で共有しています。改善すべきところは変更しています。

15. 子どもの適応行動の状況を、標準化されたアセスメントツールを用いたフォーマルなアセスメントや日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。

はい 6 (86%) いいえ 0 無回答 1 (14%)

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

・一般的な発達検査を入室時に行なっています。保護者の方からの聞き取り用の個人表は全員同じものを使用しています。12. 13. 14. のように、話し合いを多く行い、一人ひとりの子どもについて、行動観察、対応の仕方、振り返りを行ない、次の関わりを職員間で考え行なっています。必要であれば、勉強会も行っています。

16. 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び、「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で具体的な支援内容が設定されているか。

はい 7 (100%) いいえ 0

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

・2か月に1度行っている支援計画の項目は、「日常生活（あいさつの様子・食事・排泄・午後の様子）」「体の動き」「手指の動き」「人間関係」「興味関心」「理解」「情動」「全体・健康」です。この8つの面で、最近の様子をまとめ、各々ねらいを設定し、それに沿って支援をしています。

17. 活動プログラムの立案をチームで行っているか。

はい 7 (100%) いいえ 0

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・各曜日の担当がいます。その人が1日のリードをします。日々の設定遊びは、設定遊びには大きく分けて、「主に体を使った遊び」と、「手指を使った遊び」の2種類があり、その中に12種類ほどの遊びがあり、職員で確認し合って毎日違う遊びを設定しています（前の週に次週の設定遊びの週案を立てます）。1日のリーダーと別の人が遊びのリーダーをしています。1日の様子と、遊びの様子は毎日記録をしています。その記録をたどり、適切な関りをしていたか、これからどのような支援が必要かなどを、職員間で話し合い、日々の保育をしています。活動や日常生活に沿って、目標をスモールステップで立てて、支援しています。変更を行なう場合も職員間で確認して変更しています。
- ・2か月に1度見直しを行っているが、個別支援計画以外にもその時々の子どもたちの様子を見ながら適宜振り返りを行っています。子どもの声を聴き、子どもの動きに合わせて柔軟に支援を行えるように努めています。このことは保護者とも共有しています。

18. 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。

はい7（100%） いいえ0

意見

- ・工夫しているが、足りない部分もあると思う。

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・17. と同じです。教室では設定遊びを含め、子どもたちが「遊ぶ」ことをとても大事にしています。活動プログラムは子どもたち一人ひとりの課題を「まとめ」で確認しているので、それを頭に置きながら、子どもたちからの動きを大切にしながら、職員たちは遊びの素材・出し方・手伝い方などを気にして遊んでいます。固定化しないように十分工夫をしていると思います。

19. こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。

はい7（100%） いいえ0

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・個別で遊ぶ時間とみんなで一緒に遊ぶ時間を作っています。みんなで活動することで、「順番」「待つ」「他の子の様子を見る」などのねらいを伝えています。
- ・17. 18. に書いてあることにも気を配っています。

20. 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行なっているか。

はい7（100%） いいえ0

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・17. に書いてあるように、1日の担当職員が始まりの「打合せ」を職員が集まって、します。職員間での声掛けしたり、今日の動き方の確認をこまめにとっています。

21. 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、その日行われた支援の振り返りを行ない、気付いた点等を共有しているか。

はい3（42.9%） いいえ4（57.1%）

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・支援終了後には翌日の迎えの確認等を行っているが、職員の勤務の時間帯がずれている（8:30～19:00までの勤務なので毎日メンバーが違う）ので、全員参加はできません。
- ・気になった点・共有すべき事項・重要事項等の話が出された場合は、メモに書いて貼りだしたり、その日のうちに電話やメール連絡をしたりすることは当たり前のこととして行われています。ラインなども使って共有を心掛けています。気になったことは子どものケース記録に書いたり、週に1回行っているミーティング時に確認したりしています。共有はできています。

22. 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。

はい7（100%） いいえ0

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

・17. 以降に書いてあります。

23. 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。

はい7 (100%) いいえ0

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

・17. 以降に書いてあります。

関係機関や保護者との連携

24. 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。

はい7 (100%) いいえ0

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

・しています。

25. 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。

はい7 (100%) いいえ0

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

・必要に応じて担当者会議を開かれるので、参加して確認しています。
・連携が必要な場合は、病院でのカンファレンスに参加したり、行政とも連携をとったりして支援を行っている。保育所等訪問支援事業を行っているので、保育園や小学校などと連携した支援を行っている子もいます。親の会「つながりの会」と連携して、学校へ行った保護者には参加を勧めています。

26. 併行利用や以降に向けた支援を行うなど、インクルーシブ推進の観点から支援を行なっているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）との間で、支援内容等情報共有と相互理解を図っているか。

はい7 (100%) いいえ0

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

・教室は障害のある子が通える通所の事業所ですが、保育で出かける場合には公共の場所へ出かけています。障害のない子との関わりを増やしたいからです。
・入室順番になりますが、職員と1対1で近所の幼稚園と交流保育も行っています。その園の子たちが教室に遊びに来たりすることもあります。また、そういう姿を保護者と共有することで、保護者が近所の園と結びつくきっかけにならないかな、とも思っています。就園・就学を考える際には地域へ行ってほしいと思っています。
・通っている子が次に行く保育園や幼稚園、学校には、引き継ぎの書類を作成し渡しています。必要があれば、出かけて行って引継ぎをしています。その後、保育所等訪問支援事業につながる人も増えてきました。担当の職員が必要に応じて支援を行なっています。園の保育士さんや学校の先生とも、できるところですが、話はしています。

27. 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。

はい7 (100%) いいえ0

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

・通っている子が次に学校には、引き継ぎの書類を作成し渡しています。最近は学校の方から聞いてきてくれるので、その書類に書き込むこともあります。教育委員会の人や学校の先生が教室での子どもの様子を見に来ることもあります。できる限り引き継げるようにしています。

28～30はセンター用。

31. 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。

はい0 いいえ5 (71.4%) 無回答2 (28.6%)

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・定期的にはしていません。相談支援の担当者会議で共有することはあります。サービス管理責任者の事業所連絡会で研修を受けている程度です。

32. 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。

はい 7 (100%) いいえ 0

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・26. に書いてあることと同じです。

33. 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。

はい 7 (100%) いいえ 0

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・送迎の時にその日あったことなど話をしています。また毎日連絡帳（双方向）のやり取りをして、体調や出来事などを確認し合っています。主にお母さんと、月に1、2回個人面談をしています。2か月に1回、保護者との学習会を行っています（テーマは子育て・就学就園・発達に関する学習、それぞれの思いを聴き合う等）。何かあった場合はいつでも話を聴くことにしています。お母さんたちとは、個別支援計画について2か月に1回、課題について確認しています。子どもの発達の状況や課題について共通理解できるよう努めています。

34. 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。

はい 7 (100%) いいえ 0

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・教室でやっていることを伝え、子どもの発達の状況や課題について共通理解に努めています。家族の支援も子どもたちの支援同様、とても大切にしています。
- ・月に1回、主に家族の人たちと学習会を行っていますが、お母さんどうし、自分の話を他の人に聴いてもらったり、他の人の話を聴いたりすることで、お母さんの気持ちが落ち着いたりすることがあります。個人面談も行っています。

保護者への説明責任等

35. 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。

はい 7 (100%) いいえ 0

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・重要事項説明書・契約書（利用者負担にことなど書いてあります）等、通室契約時に説明しています。支援プログラムは教室では「活動計画」で、毎年1回出して学習会で保護者に説明をしています。入所した人には、その時に説明をしています。また、ホームページにも載せてあります。

36. 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益を優先考慮の観点からを踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。

はい 7 (100%) いいえ 0

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・12. 以降に書いてあります。年に6回行なう個別支援計画については、保護者の確認を、面接の場で行なっています

37. 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行ない、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。

はい 7 (100%) いいえ 0

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・36. と同じです。

38. 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行って

るか。 はい7 (100%) いいえ0
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・33. 34. と同じです。
39. 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 はい7 (100%) いいえ0
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・2か月に1回父母合同学習会を行なっています。それぞれの家族の話を聴く機会があります。 ・今年度も年2回、土曜日に「にぎやか保育（家族参加）」を行ない、父母祖母祖父、きょうだいに教室での遊びに参加してもらい楽しんでいます。家族同士がつながることができるいい機会になっていると思われます。きょうだいどうしで交流する機会を取り立てて設けていませんが、教室の行事に参加している様子を見ると、きょうだいの方が楽しんでいるのでは？ と思える場面も、きょうだいどうしが仲良く遊んでいる様子も多くあります。
40. こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 はい7 (100%) いいえ0
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・何かあった場合はいつでも話を聴くことにしています。実際相談に来ています。
41. 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 はい7 (100%) いいえ0
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・2か月に1回、「ひまわり教室だより（教室内の様子だけでなく広く原稿を寄せてもらっている）」を発行しています。全国にいる会員に発信しています。 ・「でこぼこ通信（教室内の様子を知らせる通信）」を年に12回以上発行しています。これは通っている家族にだけ発信されるものです。 ・教室のパンフレット、支援プログラム（年間活動計画）アンケートの公表はホームページに掲載していますが、子どもたちの様子は発信していません。写真は特に出していません。出す時は許可を得て出しています。誰でもが見られるものは怖いので、SNSは行わないと思います。HPは金沢市のものに出しているの、誰でもが見てもいいものを出しています。
42. 個人情報の取扱いに十分注意しているか。 はい6 (86%) いいえ1 (14%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・十分に注意・配慮しているつもりですが、印刷物を間違えて他の子の鞆に入れてしまうという、失敗があることも否めないの、失敗した時は、その後のことを迅速に対応していています。 ・写真を載せる時は確認を行なっています。 ・個人情報の取扱いに注意はしているつもりですが、これまで以上に気にかけていきたいと思います。
43. 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 はい7 (100%) いいえ0
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・今まで書いてきたことと同じです。
44. 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。 はい6 (86%) いいえ1 (14%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・今年度も、市民に向けて「共生の文化講座」を行ないました。

・地域住民を招待するなどは行っていないですが、教室の見学等はいつでも受け入れています。

非常時等の対応

45. 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。

はい 6 (86%) いいえ 1 (14%)

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・緊急時対応マニュアル・子ども一人ひとりの医療ノート・感染症対応マニュアル・BCP（防災マニュアルはここに入っている）の計画は、子どもが毎日持ってくる袋に入れてあります。
- ・訓練は行っていますが、回数を増やし、内容も工夫できれば、と思います。
- ・事故防止・防犯については、緊急連絡用の電話の設置はしてありますが、訓練を行っていません。教室では子どもたちを職員が連れて逃げるので、職員の動き方を訓練する形になります。子どもを連れて逃げることについては、どの場合も同じなので、災害の種類によつての職員の動き方についてこれからも確認をしていきます。

46. 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。

はい 7 (100%) いいえ 0

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・避難訓練は年に数回行なっています。子どもの避難だけでなく、必要な物品を運び出す練習もしています。実施の様子は、「でこぼこ通信」に載せ、保護者に発信しています。
- ・法人で行なっている年2回の避難訓練にも参加しています。
- ・機会があるごとに、備蓄品を用意しています（テント・パーテーションなどがあるので、トイレ用の新聞紙と袋・水・車いす等足りないものを補充中）

47. 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。

はい 7 (100%) いいえ 0

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しています。子どもたち一人ひとりについて「医療ノート」を作成し、服薬の様子や発作のこと等を記している。緊急時の対応表等も作成し、毎日持ってくる鞆に、常に入れてあります。1年に1回確認し直しています。年の途中で薬が変わった時は、その都度確認し、日々のケースにも記録しています。

48. 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。

はい 7 (100%) いいえ 0

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・食物アレルギーのある子どもがいる場合は、お母さんからの聞き取りをし、対処の仕方を教えてもらって行っています。教室で出すおやつはほとんどありませんが、出す時には保護者に確認を取っています。
- ・今はまだそこまでの子はいませんが、医師の指示書に基づく対応が必要な場合は、指示書にしたがって行なっていきます。

49. 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、そのほか必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。

はい 7 (100%) いいえ 0

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・安全については、職員全体がチームとして機能していることなので、しっかりとなされていると思います。何かヒヤリハットの事案が起こった時などは職員のミーティングで振り返りを行ない、次回からどうしたら起こらないかを話し合っ改善しています。改善すべきことについては職員全員に確認がいきます。

50. こどもの安全確保に関して、家族などと連携が図られるよう、安全計画に基づく取り組み内容について、家族等に周知しているか。 はい 7 (100%) いいえ 0
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・年度最初の学習会で、災害時に安否確認を行うことや、避難場所の確認をしたいと話しましたが、まだ、文書にはできていません。早急に作りたいと思っています。 ・事故があった時には、どう動くかについては、各子どもの鞆に常備入れてあり、保護者のみなさんにも毎年変更がないかの確認をしています。 ・事務室と台所に、110番通報装置が設置されたことは話しています。また、各自の鞆に、一人ひとりの緊急時の連絡表を入れてあります。
51. ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。 はい 7 (100%) いいえ 0
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・ヒヤリハット事例集を作成しています。作成だけでなく、その場で確認したり、予想して予防するための声掛けをしたりしています。小さなヒヤリもノートに記入するようにしていて、職員全員が書き込めて、見ることもできるように、事務室に出してあります。 ・気づいたことはすぐに職員間で共有し、対策等その都度話し合い、また検証改善も気をつけています。
52. 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 はい 7 (100%) いいえ 0
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・できる限り研修を受けたり伝達研修を実施したりしています。毎年、金沢市で行われるので、参加しています。参加できなかった人に、レジュメが配られ、ミーティングで周知しています。また関連の新聞記事などのコピーを配って話をしたりしています。
53. どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 はい 7 (100%) いいえ 0
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・座位保持椅子や車椅子を使用している子どもは児童発達支援計画に記載をしているので、保護者に個別支援計画の説明をする際に説明しています。座位保持椅子の場合はベルトをしないことで、椅子から落ちてしまったりし、その方が虐待になる可能性もあることなので、身体拘束に当たるのかどうかわからないところです。ただ、座位保持椅子にずっと座らせることがないように（そういう時間はないですが）したいと思っています。

(公表) 分析結果

事業所の強みだと思われること ※より教化・充実を図ることが期待されること		工夫していることや意識的に行っている取組等	更に充実を図るための取組
1	一人ひとりの子どもを大事にし、子どもたちが存分に自分らしい活動をできるような関わり方や遊具の出し方などの工夫をしている。	一人ひとりの子どもの状況や課題を職員間で共有して取り組んでいる。 子どもたちがわくわくして動けるような遊びの工夫をしている。	子どもの姿をより丁寧に捉え、必要な介助などを心掛けていきたい。自分でどんどん動く子が少ないので、大人の方から色々な働きかけをし、面白い遊びを作り出していきたい。
2	子どもたちが自分で環境を変化させ、自分が自分の人生の主人公だと思えるよう、子どもたちが動きやすいような環境作りに心掛けている。	子どもたちの手の届くところにおもちゃが置かれている。 必要に応じて色々なおもちゃなどを出せるようにしている。	子どもが楽しめる遊具を探すことに一層力を入れていきたい。自分で気づいて、自分で動いて、自分で色々なことを獲得できるような関わりをしていく。

3	家族を支えること。家族参加の活動や保護者への援助など、子どもと関わりのある人たちへの援助にも目を配っている。	母親（時に父親）の個人面談・家族どうしの学習会、家族参加の行事、父親の会の取組、父母合同の学習会（先輩の話を聴く・社会の福祉・教育などの情報提供・互いの話を聴き合う）、家庭訪問など。	それぞれの取組をより充実させ、保護者との信頼関係をより深める努力をしていきたい。 家庭訪問の機会が少なかったので、これを増やす努力をしていきたい。
4	インクルーシブ社会へ向けての取組をしている。 共生の文化講座（市民に向けての講演会）を年1回開催している。	公共の場所（公園・図書館・児童館・大型スーパー・街散歩・路線バス・電車に乗る等）で遊んでいる。近くの幼稚園と交流保育を行なっている。	今後とも、この取組を継続し続ける。保育所（幼稚園・こども園）や学校につなげる取組をしていく。家族と話をする。

事業所の弱みだと思われること		事業所として考えている課題の要因	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点
1	看護師の数が少ない。日によっては看護師がいないので不安だとの声があった。	医療的ケアを必要とする子の保護者としては不安に思う可能性がある。	不安に思う保護者とはよく話をし、保護者の思いを聴くと共に、教室として一人ひとりの子どもに必要な援助をていねいに行なっていくことを伝え、理解を深め合いたい。
2	理学療法士がいらないことへの不満が出された。十分な対応がされていないのではないか、との不満・不安があるのであらうと思われる。	予算の関係もあり、それほど多くの人を採用することはできないという限界がある。	教室としては、一人ひとりの子どもの状態をていねいに把握しながら必要な関わりを心掛けているが、必要に応じてその分野の人の意見も参考にしていきたい。
3	外部（特に「自立支援協議会」「児童発達支援センター」）の関わりが少ない。医療関係や、教育・保育関係との連携は取れている。	積極的に取り組めていない。児発管の研修に係を派遣しているなどで、人員配置が難しい。	今後は必要に応じて、その分野の人の意見も参考にしていきたい。

事業所名	金沢市障害児通園施設 ひまわり教室			
保護者評価有効回答数	対象者数	10人	回答者数	10人
従業者評価実施期間	2025年1月27日～2025年2月15日			
従業者評価有効回答数	対象者数	4人	回答者数	4人
事業者向け自己評価作成日	2025年2月17～24日			

（1）「保護者等からの放課後デイサービス事業所評価の集計結果」

表3 「保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果」 10人

	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	合 計
環境、体制整備（1～4）	37(92.5)	2(5.0)	0(0.0)	1(2.5)	40(100)
適切な支援の提供（5～11）	60(85.7)	2(2.8)	2(2.8)	6(8.7)	70(100)
保護者への説明等（12～22）	101(91.8)	8(7.3)	0(0.0)	1(0.9)	110(100)
非常時等の対応（23～26）	38(95.0)	0(0.0)	2(5.0)	0(0.0)	40(100)
満足度（27～29）	29(96.7)	1(3.3)	0(0.0)	0(0.0)	30(100)
合 計	265(91.3)	13(4.5)	4(1.4)	8(2.8)	290(100)

（公表）以下は、放課後等デイサービスの保護者のみなさんからの意見です。

環境・体制整備

1. こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 はい10（100％） どちらともいえない0 いいえ0 わからない0 意見・「体を思いっきり動かすことができているので、確保されていると思う」「子どもがのびのび活動している感じがします」
2. 職員の配置数は適切であると思いますか。 はい8（80％） どちらともいえない1（10％） いいえ0 わからない1（10％） 意見・なし
3. 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 はい9（90％） どちらともいえない1（10％） いいえ0 わからない0 意見・なし
4. 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 はい10（100％） どちらともいえない0 いいえ0 わからない0 意見・なし

適切な支援の提供

5. こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 はい10（100％） どちらともいえない0 いいえ0 わからない0 意見・「子どもの特性をよく理解して支援をしてくださっています」「眼鏡をかけて安全に過ごせるよう配慮されている。学校や他のデイでは眼鏡を自分で外して失くしてしまう」「専門性のある支援ってなんだろうと思いますが、ひまわりはどんな子も受け止めてひとりひとりの子どものことを大切にしているので、特に専門性とか関係なく安心できる。目の前の子たちと付き合っているうちに関係性が築けていくこと、それが自然と専門性のある支援ということになるのかなと思います」
6. 事業所が公表している支援プログラムは事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。

はい8 (80%) どちらともいえない1 (10%) いいえ0 わからない1 (10%) 意見・「『事業所が公表しているプログラム』がよく分からない。どこを見たら良いのか」(すみません。教室を出している「活動計画」のことです。金沢市のホームページに載せてあります)
7. こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されていると思いますか。 はい9 (90%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない1 (10%) 意見・「放課後利用できると嬉しいです」「子どものことは理解してもらっているのは分かりますが、支援計画はわかりません」
8. 放課後等デイサービス計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 はい7 (70%) どちらともいえない0 いいえ1 (10%) わからない2 (20%) 意見・なし
9. 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 はい10 (100%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない0 意見・「小学校に行っても、訪問してもらって一緒に考えてもらえる環境で安心できる」「客観的に率直にアドバイスを下さるので、信頼して相談することができています」「その日その日の状況を伝えて頂いているので、新しいことを知ったり課題を確認したりできています」「送ってきた時も軽く今日の様子など言ってもらえて、いいと思います」
10. 事業所の活動プログラム(日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動。こどもの発達の状況や障害特性に応じて柔軟に組み合わせて実施される)が固定化しないよう工夫されていると思いますか。 はい10 (100%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない0 意見・「こどもの意見を尊重してくださっています」
11. 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域のこどもと活動する機会がありますか。 はい6 (60%) どちらともいえない1 (10%) いいえ1 (10%) わからない2 (20%) 意見・「機会をたくさん作って頂いていると感じています」「交流ってなんだろう?と思いますが、この質問自体にいろいろ思うことはありますが…、公園や図書館などで自然と周りの子たちと遊んだりできたらいいなと思います」「月の利用回数が少ないので(いいえです)」「学校の交流クラスでは健常児の子(男子)にからかわれている感じに思います」

保護者への説明等

12. 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 はい10 (100%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない0 意見・なし
13. 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 はい9 (90%) どちらともいえない1 (10%) いいえ0 わからない0 意見・なし
14. 事業所では、家族に対して家族支援プログラム・ペアレント・トレーニング等が行われていますか。 はい9 (90%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない1 (10%) 意見・「共生の文化講座など、もっといろいろな方のお話をきいてみたいです」
15. 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。 はい9 (90%) どちらともいえない1 (10%) いいえ0 わからない0 意見・「いつも子どもの様子を詳しく教えてください」「学校訪問をしてもらい、学校での様子や、どうしたらよいか等のアドバイスを頂けるので助かります」「成長に伴い、色んな心配事

ることをちゃんと共有できているのかな？　と思う時があります（自分自身がそれを伝えられているかどうかということです）伝えるためのシステムを作らないと、と感じています」
16. 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 はい9（90%）　どちらともいえない1（10%）　いいえ0　わからない0 意見・「定期的に面談することができ、こどものことも聞けて、私も話を聴いてもらえて安心できています」「いつも悩みなど聴いてもらえて助かっています」「保育所など訪問で学校の様子をわかりやすく説明していただきました」「通室し始めて5年ちょっと経ちました（もうそんなになるんですね）。いろんな事があったと思いますが、そのとこ時で起こる事も違ってきて子ども達の成長とともに自我が強くなっているのか、うまく折り合いをつけられず、緊張と疲労が主な日々を変わらず送っている感じです。子どもの年齢が上がるにつれ、兄弟間のもめ事が増え、手を取られることも増えると、一人で出来ない事・やらない事に関してイライラしたり、対話する事もイヤになり、母親としてできなかったり、気持ちがついていかなかったり、いまだに繰り返しています。長い間、歯みがき、散髪等にも苦労しましたが、ようやくここに来て、少しずつですが、家庭でも目に見えて成長を感じる事が出来るようになりました。歯磨きはひまわり教室で歯磨き粉がダメなんじゃないか！？というところから、水歯磨きにはじまり、少しずつ慣らして、教室での習慣からできるようになりました。1つの仕事が減っただけでもうれしいですが、あんなに暴れて大声でいたことが、できるようになった事が信じられませんでした。そんなことがいくつもあった1年でした。大きな変化です。私は、気持ちも体もついていかず、子どもと変わらず日々関わるという事が出来ないことが多く、自責の念に駆られたり、混乱したりばかりです。が、ひまわり教室の先生方はやってきた事、長きにわたり、変わらず、愛情を注いで下さった事、魅せられました。日頃より、ありがとうございます」
17. 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 はい10（100%）　どちらともいえない0　いいえ0　わからない0 意見・「親子共々、いつも支えていただきありがとうございます」
18. 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 はい7（70%）　どちらともいえない3（30%）　いいえ0　わからない0 意見・「つながりの会の参加で色々なことが聴けて勉強になっています」「ひまわりのお母さんたちと会える機会がもっとあったらうれしいです。地域の学校でのことなど先輩のお母さん方にいろいろ聞けるような場があると助かります」「共生の文化講座はいろいろな話が聞けてとてもいいと思います」「保護者との関わりがあまりないです」
19. こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 はい10（100%）　どちらともいえない0　いいえ0　わからない0 意見・「成長を漢字、うれしく思いながらも、状況はその時々でまた変化するものです。良い事ばかりでなく、今の現状を維持することも容易ではないと思っています。来年度は5年生になります。小さなお友達の中で、自分の居場所を見つけてやっていけるか、自分のペースで少しずつでもやりたい事、新しい事にチャレンジできる様、先生方のお力を借りることばかりですが、一緒に考えて、私自身も出来る事をやっていけたらと思います。今後ともよろしくお願い致します」
20. こどもの保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 はい10（100%）　どちらともいえない0　いいえ0　わからない0 意見・なし
21. 定期的に会報やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。 はい8（80%）　どちらともいえない2（20%）　いいえ0　わからない0

意見・「教室だより、つながりの会報、いつも楽しみにしています。読むといつもはげまされ、がんばろうと思えます」「教室だよりやつながりの会のおたよりで日頃の様子や情報が分かるのでありがたいです」
22. 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 はい10 (100%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない0
意見・なし

非常時等の対応

23. 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等学校策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 はい9 (90%) どちらともいえない0 いいえ1 (10%) わからない0
意見・「マニュアルはあるが、訓練はされていないと思う」
24. 事業所では、非常災害に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 はい9 (90%) どちらともいえない0 いいえ1 (10%) わからない0
意見・「定期的な訓練はないと思う」
25. 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、全の確保が十分に行われた上で支援がなされていると思いますか。 はい10 (100%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない0
意見・なし
26. 事故等（怪我等も含む）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 はい10 (100%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない0
意見・「帰りに送ってきた時、小さな怪我でも報告してくれるので助かる」

満足度

27. こどもは安心感をもって通所していますか。 はい10 (100%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない0
意見・「小さい頃からなので、安心して楽しく通っています」「小さい頃から通所しているので、子どものことをよく理解してもらっているので親子で安心感があります」
28. こどもは通所を楽しみにしていますか。 はい9 (90%) どちらともいえない1 (10%) いいえ0 わからない0
意見・「行ける日を楽しみにしています」「ひまわり教室に行く日は前日からウキウキしています」「お迎えにくると嬉しそうに笑います」
29. 事業所の支援に満足していますか。 はい10 (100%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない0
意見・「何かあれば相談できる所があるという安心をくれてとても感謝しています。ありがとうございます」「親子共々、まるごと受け止めてもらえ、安心できる場所です。なので、卒業後がとても不安です」「少しずつでもやりたい事、新しい事にチャレンジできるよう、先生方の尾力を借りる事ばかりですが、一緒に考えて、私自身も出来る事をやっていけたらと思います。今後ともよろしくお願い致します」

<放課後等デイサービス事業保護者の評価を読んで>

全体としては高い評価をいただき、感謝致します。特に満足度(27. 28. 29 の合計)に関して、30 人中 29 人の方に「はい」の回答をしていただけたことは有難いことです。

ただ、どの領域においても少しずつ評価の保留や否定的評価が見られたことに注意を払っていきたいと思います。とりわけ「保護者の説明等」において評価保留の人のパーセントが 7.3%と高かったことについては、私たちとしても考えていく必要があると思います。放課後等デイサービスを利用する子の頻度

には、週に数回から、年に数回と、とても大きな幅があります。利用頻度の低い子の保護者とのコミュニケーションを、少しでも深めていくように努めたいと思います。

（２）職員からの放課後等デイサービス事業所自己評価の集計結果」４人

表２「放課後等デイサービス事業自己評価に関する質問の職員からの回答の集計結果」（ ）内はパーセント

	はい	いいえ	合 計
環境、体制整備（１～５）	19（95.0）	1（5.0）	20（100）
業務改善（６～１０）	20（100）	0（0.0）	20（100）
適切な支援の提供（１１～２５）	54（90.0）	6（10.0）	60（100）
関係機関や保護者との連携（２６～３５）	30（75.0）	10（25.0）	40（100）
保護者への説明責任等（３６～４５）	39（97.5）	1（2.5）	40（100）
非常時等の対応（４６～５４）	29（80.6）	3（19.4）	36（100）
合 計	191（88.4）	25（11.6）	216（100）

（公表）以下、は職員の意見と工夫している点・完全が必要だと思われる点です。

環境・体制整備

１．利用定員が発達支援室等スペースとの関係で適切であるか。 はい４（100％） いいえ０ 工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・土曜日や長期休み中は、児童発達支援の子どもたちと一緒に遊ぶことになります。小さい子と大きい子と部屋を分けたり活動内容を別にしたりして工夫しています。部屋の広さは適切だと思われます。 ・放課後の利用は、小さい子はもう帰っているので、そのまま教室を使いますが、着替えとおやつ、宿題を終えると、外の公園や児童館など、公共の場所で過ごすようにしています。 ・トイレは、小学校高学年になった子や体の大きい子は、大人用を使用させています。また、お姉さんお兄さんたちは別室で、着替えやおむつ替えを同性介助で行なっています。
２．利用定員やこどもの状況等に対して、職員の配置数は適切であるか。 はい４（100％） いいえ０ 工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・適切だと思っています。同性で介助できるように勤務体制を工夫しています。
３．生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達、環境上の配慮が適切になされているか。 はい４（100％） いいえ０ 工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・フラットな構造で、電動車いすの子でも不自由なく過ごしています。 ・フラットな環境や落ち着いた場所など、一人ひとりに合わせた構造になっています。
４．生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。 はい３（75％） いいえ１（25％） 意見 ・時に児童発達の子どもたちと一緒に遊ぶこともある。遊ぶおもちゃも同じで、物足りなさもあると思うが、そんな時は別の部屋に片付けてあるおもちゃを出すようにしている。 工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・清潔です。掃除・整理整頓を心掛けています。今後ともそうできるようにしていきます。放課後等デイサービスの子たちがいると、おもちゃや遊具を出す量が多くなります。小学生には自分で出したものは自分で片付けるように伝えています。出しまくることはなるべくないようにしたいです。

5. 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用する自治が認められる環境になっているか。

はい 4 (100%) いいえ 0

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

・本人たちのやりたいことを聴きながらやっているの、そうしたい時は出来るようにしています。

業務改善

6. 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。

はい 4 (100%) いいえ 0

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

・しています。これは、児童発達支援と同じです。

7. 保護者等向け評価表により、保護者等に対して保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。

はい 4 (100%) いいえ 0

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

・つなげています。児童発達支援と同じです。

8. 職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。

はい 7 (100%) いいえ 0

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

・つなげています。児童発達支援と同じです。

9. 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。

はい 4 (100%) いいえ 0

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

・児童発達支援の所を書いてあります。

10. 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で観衆を開催する機会が確保されているか。

はい 4 (100%) いいえ 0

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

・確保しています。児童発達支援と同じです。

適切な支援の提供

11. 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。

はい 4 (100%) いいえ 0

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

・毎年、その年度の活動計画（支援プログラム）を作成しています。放課後等デイサービスについては、本人たちの意向を聴きながら行っているため、おおまかな計画になっています。ですが、一人の子に対し、「体の動き」「手指の動き」「人とのつながり」「興味関心」「理解」「日常生活の面」「健康」等に分けて個別支援計画を立てているので、それを念頭に置きつつ放課後等デイサービスを行なっています。

12. 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。

はい 4 (100%) いいえ 0

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

・毎年、家族から聞き取りをしています。保護者の希望も聞いています。保育所、学校の様子も聞いています。それも参考にして計画を立てています。

13. 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。

はい 3 (75%) いいえ 1 (25%)

工夫している点・改善が必要だと思われる点など
・計画をたてて、計画を基に、放課後等デイサービスに入る職員で話し合うことはありますが回数が少ない時もあります。もう少し時間を増やしたいと思います。
14. 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 はい3 (75%) いいえ1 (25%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など
・支援に入る職員は4～6人なので、その人たちに共有されています。本人の意向を聴きながらやっていることにおいては、計画に沿っていると思います。 ・日常的にできているわけではないので、不十分だともあります。
15. こどもの適応行動の状況を、標準化されたアセスメントツールを用いたフォーマルなアセスメントや日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 はい3 (75%) いいえ1 (25%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など
・小学校に行った子に関しては、細かく行っていません。新しく利用する子には標準化されたアセスメントツールを使用しています。年1回教室で作った聞き取り用紙（アセスメントシート）を使用して聞き取りを行なっています。
16. 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び、「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で具体的な支援内容が設定されているか。 はい4 (100%) いいえ0
工夫している点・改善が必要だと思われる点など
・11. に書いたように、分けて設定されています。 ・足りない部分もあるとは思いますが、それは今後の課題とします。
17. 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 はい3 (75%) いいえ1 (25%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など
・その日の放課後等デイサービスの担当が、本人たちと相談して決めています。全員の職員とは行っていないませんが、放課後等デイサービスに入らない職員もいるので、全てのことを共有はしていません。
18. 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 はい4 (100%) いいえ0
工夫している点・改善が必要だと思われる点など
・本人の意向も聞くが、こちらからも提案して、相談して決めている。同じようなことをやりたがるが、チャレンジメニューも提案しています。
19. こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 はい4 (100%) いいえ0
工夫している点・改善が必要だと思われる点など
・個別で遊ぶ時間とみんなで一緒に遊ぶ時間を作っています。みんなで活動することで、「順番」「待つ」「他の子の様子を見る」などのねらいを伝えています。 ・6か月に1度見直しを行っているが、支援計画以外にもその時々の子どもの様子を見ながら適宜振り返りを行なっています。
20. 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行なっているか。 はい4 (100%) いいえ0

工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・曜日ごとに1日の担当職員が決まっています。その職員が毎朝1日の打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や職員の動き・役割分担について確認しています。 ・職員間での声掛けや連絡をこまめにとっています。
21. 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、その日行われた支援の振り返りを行ない、気付いた点等を共有しているか。 はい2 (50%) いいえ2 (50%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・支援終了後には職員は揃っていないので、振り返りはできていません。気になった点・共有すべき事項・重要事項等の話が出された場合は、メモに書いて貼りだしたり、その日のうちに電話やメール連絡をしたりしています。子どものケース記録に書くこともあり、週に1回行っているミーティング時に確認することもあります。共有はできていると思っていますが、集まることはできません。
22. 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 はい4 (100%) いいえ0
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・ケース記録は一人の子に対して、1冊あります。この記録を6か月に1回まとめ、支援計画を作成しています。子どもの課題を設定し、保護者にも説明をしている。必要な時は適宜、見直しをし、確認しています。
23. 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。 はい4 (100%) いいえ0
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・6か月に1回行って、判断しています。
24. 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行なっているか。 はい4 (100%) いいえ0
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・「本人支援」としては、自分のことは自分で考えて動く（忘れものをしない、宿題をするかしないか、片付けをしてから遊ぶ、周りの人のことも考えるなど）等に促しています。その日に何をしたいのかも含め、本人の意向を聴いて動いています。「家族支援」については、送迎時に話をすることが多いですが、個人面談を希望する人にはいつでもできるようにしています。「移行支援」については、できる時はその子の地域の児童館へ行ったりしています（お母さんと一緒に地域の行事に出ることは勧めています）。「地域支援」については、そこまではしていません。地域のことは家族がまずはやるのが大事です。そこを抜いて動くことはしたくないと思っています。その子を取り巻く状況は理解した上で、様子を見ながら、支援しています。
25. こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行なっているか。 はい4 (100%) いいえ0
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・24. にも書きました。その子にとっては大切な「自分の人生」なので、ことあるごとに選択を提示し、選ぶようにさせています。選べる子になるには、選ばせる機会が多くないといけないので、なるべく選択できるようにして、自分で選んだ方を優先しています。どうしても無理な時は相談をしています。自分のことは自分で決めるようにさせています。

関係機関や保護者との連携

26. 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。 はい4 (100%) いいえ0
工夫している点・改善が必要だと思われる点など

・子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しています。
27. 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 はい4（100%） いいえ0
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・連携が必要な場合は、すぐに出来るように体制を整えている。
28. 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 はい4（100%） いいえ0
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・下校時間のプリントはもらっています。家から下校時間の変更などは連絡してもらっています。
29. 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 はい3（75%） いいえ1（25%）
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・学校へ行った子の就学前に利用していた場所との連携はあまりとっていないです。小学校1年生の時の担当者会議には幼稚園の先生も参加したことがあります。が、それ以降は、連携はしていません。学校の先生とは話をするようにしています。
30. 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 はい3（75%） いいえ1（25%）
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・必要であればします。これまではあまりないことでした。
31. 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。 はい0 いいえ4（100%）
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・していません。必要が出た場合にお問い合わせすることもあると思います。
32. 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会はあるか。 はい4（100%） いいえ0
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・公共の場所で遊ぶようにしているので、その場に来ている子ども達と遊ぶ機会は作るようにしている。
33. （自立支援）協議会などへ積極的に参加しているか。 はい0 いいえ4（100%）
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・していません。必要が出た場合にお問い合わせすることもあると思います。
34. 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 はい4（100%） いいえ0
工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・子どもたちを送っていった時などに話をしています。子どもの課題については、共通理解を持たないとやれないと思います。
35. 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 はい4（100%） いいえ0

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・研修の機会等おすすめはしています。参加するかどうかはそれぞれの家族に任されます。
- ・相談があった時はすぐに応えるようにしています。

保護者への説明責任等

36. 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。

はい 4 (100%) いいえ 0

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・重要事項説明書・契約書（利用者負担のことはここに書いてある）等、通室契約時に説明しています。

37. 放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益を優先考慮の観点からを踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。

はい 4 (100%) いいえ 0

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・12. で書いたように、毎年、家族から聞き取りをしています。保護者の希望も聞いています。保育所、学校の様子も聞いています。個別支援計画の説明をする時に話をすることもあります。

38. 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行ない、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。

はい 4 (100%) いいえ 0

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・37. と同じです。

39. 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。

はい 4 (100%) いいえ 0

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・送迎時などでも話す機会があります。また、連絡帳のやり取りも毎日行っているため、お聞きした時には随時対応している。希望する場合に面談をしています。

40. 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。

はい 3 (75%) いいえ 1 (25%)

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・それぞれの家族の話を聴く機会があります。放課後等デイサービスの人たちには、あまり提供できていませんが、「つながりの会（親の会）」にお誘いしています。学校へ行くときょうだいたちも大きくなって、行事に参加することは少なくなります。

41. こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。

はい 4 (100%) いいえ 0

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・何かあった場合はいつでも話を聴くことにしています。放課後等デイサービスの利用の人は、面談は希望があれば行なうことにしています。

42. 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。

はい 4 (100%) いいえ 0

工夫している点・改善が必要だと思われる点など

- ・2か月に1回「ひまわり教室だより」を発行している。つながりの会の便りも行っています。HPには教室のパンフレットと活動計画を載せてあります。SNSには写真を載せることはしません。了解を得た場合は出ていることもありますが、紙ベースのみでの発信としています。

43. 個人情報の取扱いに十分注意しているか。

はい 4 (100%) いいえ 0

工夫している点・改善が必要だと思われる点など
・十分に注意・配慮しているつもりですが、印刷物を間違えて入れてしまうことがあり、失敗があることも否めないで、失敗した時は、その後のことを迅速に対応していきます。 ・写真を載せる時は確認を行なっています。 ・個人情報の取扱いに注意はしているつもりですが、これまで以上に気にかけていきたいと思っています。
44. 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。
はい 4 (100%) いいえ 0
工夫している点・改善が必要だと思われる点など
・41. と同じです。何かあった場合はいつでも話を聴くことにしています。放課後等デイサービスの利用の人は、面談は希望があれば行なうことにしてあります。
45. 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。
はい 4 (100%) いいえ 0
工夫している点・改善が必要だと思われる点など
・今年度も、市民に向けて「共生の文化講座」を行いました。 ・教室の見学等はいつでも受け入れています。

非常時等の対応

46. 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。
はい 2 (50%) いいえ 2 (50%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など
・緊急時対応マニュアル・子ども一人ひとりの医療ノート・防災マニュアル・感染症対応マニュアルは、子どもが毎日持ってくる袋に入れてあります。 ・訓練は行っているが、回数を増やし、内容も工夫できれば、と思います。 ・事故防止・防犯については、緊急連絡用の電話の設置はしてあるが、訓練を行っていないので、職員の動き方など、行うようにしたいと思います。
47. 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。
はい 3 (75%) いいえ 1 (25%)
工夫している点・改善が必要だと思われる点など
・避難訓練は年に数回行っている。子どもの避難だけでなく、必要な物品も運び出しています。また、法人で行っている避難訓練にも参加しています。 ・もう少し訓練のやり方を考えたいと思います。
48. 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。
はい 4 (100%) いいえ 0
工夫している点・改善が必要だと思われる点など
・事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しています。子どもたち一人ひとりについて「医療ノート」を作成し、服薬の様子や発作のこと等を記している。緊急時の対応表等も作成し、毎日持ってくる鞆に、常に入れてあります。1年に1回確認し直しています。年の途中で薬が変わった時は、その都度確認し、医療ノートに入れ替えしています。
49. 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。
はい 4 (100%) いいえ 0
工夫している点・改善が必要だと思われる点など
・食物アレルギーのある子どもがいる場合は、お母さんからの聞き取りをし、医師の指示書に基づく対応をしています。

50. 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、そのほか必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 はい4（100%） いいえ0	工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・緊急なことが起こった時の体制表は子どもが毎日持ち歩く鞆に入れてあり、連絡するようになっていきます。	
51. こどもの安全確保に関して、家族などと連携が図られるよう、安全計画に基づく取り組み内容について、家族等に周知しているか。 はい0 いいえ4（100%）	工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・安全計画という形では、完全には周知できていません。 ・車には「おきざり防止装置」が設置され、教室内には110番通知装置が設置されています。安全に関して、職員では話し合っていますが、家族には伝えられていません。今後やっていきます。	
52. ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。 はい4（100%） いいえ0	工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・ヒヤリハット事例集を作成している。作成だけでなく、その場で確認したり、予想して予防するための声掛けをしたりしています。小さなヒヤリもノートに記入するようにしています。職員全員が書き込めて、見ることもできるように、事務室に出してあります。	
53. 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 はい4（100%） いいえ0	工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・できる限り研修を受けたり伝達研修を実施したりしています。毎年、金沢市で行われるので、それぞれ参加しています。新聞記事などの話をしたりコピーを配って共有したりしています。 ・更に継続的な研修が必要。きびしく自分たちの言動を見直すことができるよう努めたいです。	
54. どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 はい4（100%） いいえ0	工夫している点・改善が必要だと思われる点など ・座位保持椅子や車椅子を使用している子どもは児童発達支援計画に記載をしているので、保護者に個別支援計画の説明をする際に説明しています。座位保持椅子の場合はベルトをしないことで、椅子から落ちてしまったりし、その方が虐待になる可能性もあることなので、身体拘束に当たるのかどうか分からないところです。上半身に補装具をしている人もいて、1日中つけているのも苦しいと思われるので外す時間も作っています。また、座位ばかりでなく、寝た姿勢を取らせています。座位保持椅子にずっと座らせることがないように（そういう時間はないですが）したいと思っています。 ・いつもやっていることを説明する形になりますが、座位保持椅子や車椅子を使用している子どもの保護者には、児童発達支援計画に記載をしてあるので、その時に説明しています。	

(公表) 分析結果

事業所の強みだと思われること ※より教化・充実を図ることが期待されること		工夫していることや意識的に行っている取組等	更に充実を図るための取組
1	教室の中だけで過ごさない。子どもの今の状態をよく理解して関わることについて職員間で共通理解がなされている。	子どもたちの集まりそうな所へ出かけたり、話し合いで子どものこと・活動内容について話し合ったりしている。	公共の場所で、障害のない子たちと遊ぶ機会をより多く作る。

2	家族参加の活動を用意し放デイの家族も参加できる機会を設けている。	保護者の学習会や講演会を開いている。	放デイ利用の家族に向けた行事を開催できるか考える。
3	本人と何をしたいのか相談しながら過ごしている。	すべきことを済ませて、公共の場所へ行くようにしているが、その日に何をしたいか・どこへ行きたいか、本人に聞いて活動を決めている。	雨・雪の時でも出かけられるようにしたいが。

事業所の弱みだと思われること		事業所として考えている課題の要因	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点
1	保護者とのコミュニケーションが不十分で、こちらの取組についての説明も十分にできていない例がある。	利用頻度の少ない子どもの保護者とのコミュニケーションがどうしても希薄になってしまう。	機会を作ってコミュニケーションをとるようにする、講演会などへの参加を今まで以上に呼びかける。
2	きょうだいの支援について「評価保留」の人が30%いた。	放デイを利用することが少ない子や高学年の子のきょうだいは来ない。	ほとんど利用のない子のきょうだいについて何ができるか考える。
3	放デイ利用の子全員には、避難訓練は行われていない。	放課後利用の子は多くて4人。土曜日は出かけることが多く、できていない。	出かけることが多いが、トラブルや災害の対応について意識の共有をする。
4	ごくたまにしか利用しない子どもの保護者との連携が弱い傾向がある。	年に数回だけ利用する子どもについてはどうしても深い話ができないまま過ぎてしまう。	そういう人たちとの連携を少しでも深めるため、保護者と話をする機会を作っていきたい。